

# 岡田恒雄先生 略歴



## <生年月日>

昭和23年9月9日

## <学歴>

昭和44年 4月

早稲田大学 第一文学部 II類入学

昭和48年 3月

早稲田大学 第一文学部 ドイツ文学専攻卒業  
[文学士]「プレヒト『ガリレイの生涯』」

昭和48年 4月

早稲田大学大学院修士課程 文学研究科 ドイツ  
文学専攻 修士課程入学

昭和50年 3月

早稲田大学大学院修士課程 文学研究科 ドイツ  
文学専攻 修士課程修了 [文学修士]「プレヒト『セチュアンの善人』」

昭和52年 4月 早稲田大学大学院博士後期課程 文学研究科 ドイツ文学専攻 博士課程  
入学

昭和58年 3月 早稲田大学大学院博士後期課程 文学研究科 ドイツ文学専攻 博士課程  
単位取得満期退学

## <職歴>

平成 4年 4月 明星大学 一般教育 外国語 助教授（平成9年3月まで）

平成 9年 4月 明星大学 一般教育 外国語 教授（平成22年3月まで）

平成22年 4月 明星大学 人文学部 全学共通教育 教授（平成30年3月まで）

平成30年 4月 明星大学 教育学部 教育学科 教授（現在に至る）「上級ドイツ語2、上級  
ドイツ語3、人文科学論2【世界文化の中のシェイクスピア】、外国語  
（ドイツ語）1A、外国語（ドイツ語）A、外国語（ドイツ語）3A、外国語  
（ドイツ語）4A、言語・文化研究Ⅰ」担当

## <学会及び社会における活動等>

現在所属している学会

世阿弥学会（国内学会）会員

国際演劇協会（International Theatre Institute）（国際学会）会員

国際演劇評論家協会（国際学会）会員

日本ビューヒナー協会（国内学会）会員

日本ヘルダー学会（国内学会）会員

日本演劇学会（国内学会）会員

日本独文学会（国内学会）会員

- 昭和46年 4月 個人研究 ドイツ現代演劇（現在に至る）  
昭和50年 4月 個人研究 疾風怒涛時代の演劇（現在に至る）  
昭和55年 4月 個人研究 20世紀東西演劇の交流（現在に至る）  
昭和55年 4月 個人研究 ヨーロッパ現代演劇と日本伝統演劇の関係（現在に至る）  
平成 9年 日本ゲーテ協会（国内学会）会員（現在に至る）  
平成14年 4月 個人研究 ドイツ表現主義とヴェーデキント（現在に至る）  
平成27年 日本ゲーテ協会（国内学会）理事（現在に至る）

#### ＜明星大学での演劇・伝統芸能講座コーディネーターとしての活動＞

1. 1999（平成11）年12月18日（土） 明星大学歌舞伎講座『歌舞伎の美』
  - ① [女形の美] 芸談 歌舞伎に親しむ：4世中村雀右衛門、渡辺保（演劇評論家）
  - ② [鷺娘] 中村京妙  
会場：シェイクスピアホール 主催：明星大学  
※ 報告書作成
2. 2000（平成12）年6月15日（木） 明星大学能楽講座『シェイクスピアと能楽』
  - ① 講演『能の現在と未来』
  - ② 『英語能・ハムレット』より独吟仕舞
  - ③ 公演『能・オセロー』
  - ④ 鼎談『能・狂言の古典と新作』  
出演者：上田邦義、津村禮次郎、野村萬斎 他  
会場：シェイクスピアホール 主催：明星大学  
※ 報告書作成
3. 2001（平成13）年10月28日（日） 明星大学 蒼星祭イベント  
『和の彩り女三題』竹本朝重（義太夫節）、澤村國久（歌舞伎役者）他  
会場：青梅キャンパスホール
4. 2003（平成15）年12月4日（木） 明星大学糸あやつり人形講座
  - ① 『綱館』
  - ② 『伽羅先代萩 — 政岡忠義の段』
  - ③ 鼎談 — 結城孫三郎、結城一糸、岡田恒雄  
会場：シェイクスピアホール 主催：明星大学  
※ 報告書作成
5. 2005（平成17）年3月12日（土） 明星大学歌舞伎講座『歌舞伎とシェイクスピア』
  - ① 東も西も芝居の心は一つなり — 対談 シェイクスピアと近松門左衛門：中村鴈治郎、渡邊保
  - ② 歌舞伎『曾根崎心中』（後半）中村雁乃助、中村扇乃丞 他  
会場：シェイクスピアホール 主催：明星大学  
※ 報告書作成  
※ 2004年10月9日（土）に予定した講座・公演が、台風襲来のため中止、その延期した公演を、2005（平成16）年3月12日に開催

6. 2005（平成17）年10月15日（土）  
 明星大学演劇講座『シェイクスピアとオペラと歌舞伎—マクベスと光秀』
  - ① 鼎談『マクベス』～シェイクスピアからヴェルディへ  
 永竹由幸、金森和子、住本規子、岡田恒雄（司会）
  - ② 歌舞伎『馬壘の光秀』について 解説：金森和子
  - ③ オペラ『マクベス』より（ハイライトシーン実演）  
 出演：エレナ・バラモヴァ、アレクサンドル・クルネフ 他  
 会場：シェイクスピアホール 主催：明星大学  
 ※ 報告書作成
7. 2007（平成19）年10月27日（土）  
 公開講座「現代のドイツ演劇 — 日本の伝統演劇からの影響 —」明星大学青梅校
8. 2010（平成22）年12月18日 教養セミナー『演劇の東西』  
 歌舞伎初の海外公演（ソ連）『仮名手本忠臣蔵』について 岡田恒雄  
 主催：明星大学  
 会場：26号館103教室
9. 2014（平成26）年9月 明星大学創立50周年記念事業  
 劇団俳小公演『どき回りのハムレット』  
 会場：シェイクスピアホール 主催：明星大学全学共通教育委員会  
 ※これに先立ち7月にシンポジウム『「ハムレット」について』を開催  
 ＊パネリスト：斎藤真（劇団俳小代表）、志村智雄（演出家）、住本規子（明星大学教授）、岡田恒雄
10. 2014（平成26）年10月18日（土） 明星大学創立50周年記念事業  
 舞台鑑賞会『シェイクスピアと歌舞伎 —「マクベス」をめぐる—』
  - ① 東路社中『魔女たちの森』（シェイクスピアと日本舞踊）、解説 岡田恒雄
  - ② 劇団解体社『マクベス』（シェイクスピアとコンテンポラリーダンス）  
 会場：シェイクスピアホール 主催：明星大学全学共通教育委員会
11. 2015（平成27）年11月14日（土）  
 平成27年度明星大学公開講座『日本の音 日本の踊り—「二人三番叟」』
  - ① 義太夫とは  
 素浄瑠璃と踊りの浄瑠璃  
 鳴り物とは  
 鳴り物で表わす情景描写
  - ② 日本舞踊実演 — 義太夫『二人三番叟』  
 司会・進行：金森和子  
 出演：竹本弥乃太夫社中、お囃子連中  
 立方：東路要、東路寿要  
 会場：シェイクスピアホール 主催：明星大学全学共通教育委員会
12. 2016（平成28）年11月9日（水）  
 明星大学 全学共通教育委員会特別講座2016『日本の音 日本の踊り — 女流邦楽演奏家と日本舞踊家の世界 —』

- ① 和太鼓演奏：岡津太鼓
- ② 浄瑠璃とは：(解説) 金森和子
- ③ 女流義太夫(太棹三味線と語り)：竹本越孝 鶴澤津賀寿
- ④ 日本の踊り、日本舞踊とは：(解説) 金森和子
- ⑤ 日本舞踊『三つ面子守り』：東路要

会場：シェイクスピアホール 主催：明星大学全学共通教育委員会

13. 2017(平成29)年10月18日(水)

平成29年明星大学公開講座『日本の音 日本の踊り ― 江戸浄瑠璃 清元節とは ―』

- ① 清元演奏 『船』：江戸浄瑠璃 清元節とは
- ② 清元ワークショップ

小鼓ワークショップ

日本の踊り、日本舞踊とは

清元 『流星』

出演：司会・進行解説 葛西聖司

清元：清元昂洋(たかひろ) 連中

お囃子：(歳松会) 望月彦十郎 社中

日本舞踊：東路要(あずまじかなめ)

会場：シェイクスピアホール 主催：明星大学全学共通教育委員会

14. 2017年(平成29)11月25日(土) 15:00~16:30

公開講座「ドイツ演劇に見るジャポニズム：プレヒト～東と西」

15. 2018(平成30)年10月24日(水)

平成30年明星大学公開講座『日本の音 日本の踊り ― 江戸糸あやつりと歌舞伎音楽 ―』

- ① 糸あやつり『三番叟』：糸あやつり人形とは
- ② お囃子演奏&小鼓ワークショップ

糸あやつり『鈴ヶ森』

出演：司会・進行解説 葛西聖司

糸あやつり：(一条会) 結城一条 社中

お囃子：(歳松会) 望月彦十郎 社中

会場：シェイクスピアホール 主催：明星大学全学共通教育委員会

<教育研究業績>

[研究分野]

美学・美術史、ヨーロッパ語系文学、各国文学・文学論

[研究内容のキーワード]

演劇理論、比較演劇

[教育方法の実践例]

毎年秋、伝統芸能製作者、義太夫語り、三味線弾きを招待、実演

平成17年5月～現在に至る

## [作成した教科書、教材]

ドイツ語中級教科書『ドイツ語万華鏡』(三修社刊)

平成16年2月～現在に至る

## <著書>

1. 演劇の「近代」―近代劇の成立と展開 共著 平成8年(中央大学出版部)
2. ドイツ演劇・文学の万華鏡(J.M.R.レンツの『演劇覚書』―否定の演劇論―) 共著  
平成9年 ドイツ演劇・文学の万華鏡―岩淵達治先生古希記念論集(同学社)
3. 『ハムレット』への旅立ち 共著 平成13年(早稲田大学出版部)

## <学術論文>

1. J.M.R.レンツの喜劇論 単著 昭和57年 『ヨーロッパ文学研究』29 (早稲田大学文学部ヨーロッパ文学研究会)
2. B.ブレヒト『家庭教師』改作―カント哲学批判とドイツの悲惨(論争) 単著 昭和57年  
ワイマル友の会DDR戯曲研究会『演劇と現実』(ワイマル友の会DDR戯曲研究会)
3. H.L.ヴァーグナー『嬰兒殺し』―死刑廃止のプロパガンダ劇 単著 昭和62年『シュプーレン』6(シュプーレンの会)
4. J.M.R.レンツ作『家庭教師』における「放蕩息子」について 単著 平成元年 東京薬科大学一般教育研究紀要9(東京薬科大学)
5. 体制維持の前線兵としての教師ヴェンツェスラウスーレンツ『家庭教師』教師像―  
単著 平成2年 ワイマル友の会『研究報告』15(「ワイマル友の会」日本-DDRゲルマニスティック交流促進協会)
6. J.M.R.レンツ『軍人たち』―擦れ違いの社会劇について― 単著 平成3年 中村英雄先生追悼論集『手帳のはしに』(「中村英雄先生追悼論集」刊行会)
7. J.M.R.レンツ『新メノーツァ』における過激な社会批判 単著 平成7年『明星大学研究紀要. 日本文化学部・言語文化学科』3(明星大学青梅校舎)
8. J.M.R.レンツ『感傷的な魂のための哲学構義』について 単著 平成8年『ゲーテ年鑑』38(同学社)
9. 日本におけるハイナー・ミュラー受容 単著 平成10年『ワセダ・ブレッター』5(早稲田大学ドイツ語学・文学会)
10. 四世鶴屋南北『東海道四谷怪談』における仇討ち批判 単著 平成11年『表現―目的と手段』2(明星大学日本文化学部)
11. ブレヒトと日本の伝統演劇―子供の悲劇と異化効果― 単著 平成14年『梶田光行先生退職記念論集』(梶田光行先生退職記念論集編集委員会)
12. ドイツ文学の義侠とアウトロー 単著 平成15年『ASD』9(新しい演劇研究の会)
13. 能、距離化された演劇―クローデルとブレヒトの場合― 単著 平成16年『総合芸術としての能』10(世阿弥協会)
14. 観客を挑発する異化効果―ブレヒト『アルトゥロ・ウイの(抑えることもできた)興隆』 単著 平成22年(『明星大学研究紀要. 日本文化学部・言語文化学科』18(明星大学青梅校))
15. 万事金の世の中―フランク・ヴェーデキント『カイト侯爵』とベルトルト・ブレヒト

- 『ゼチュアンの善人』 — 単著 平成27年 『明星大学研究紀要 — 人文学部』51 (明星大学)
16. 善への誘惑—シェイクスピア『アテネのタイモン』とブレヒト「アンリ・デュナン」題材+『ゼチュアンの善人』 — 単著 平成30年 『追悼越部暹先生 — ドイツ演劇・文学研究』(越部暹先生追悼論集編集部)

#### <その他>

1. (シンポジウム『劇詩人J.M.R.レンツ再考』パネラー) レンツの演劇における社会批判性 単著 平成4年 『ドイツ文学』(日本独文学会)
2. (マルジナリア) レンツ没後200年について 単著 平成4年 『ドイツ文学』第89号 (日本独文学会『レンツ年鑑』『軍人たち』)
3. (研究発表) レンツ『軍人たち』と鶴屋南北『東海道四谷怪談』 単著 平成元年 (西洋比較演劇研究会 (日本演劇学会分科会)『軍人たち』『東海道四谷怪談』)
4. 『春の目覚め』の仮面 — ヴェーデキント劇の精神分析的側面 単著 平成8年 『シアターアーツ』5 (AICT [国際演劇評論家協会] 日本センター編集委員会)
5. (学会シンポジウム『世阿弥と修羅』パネラー) 新中納言知盛と修羅能 単著 平成14年 (世阿弥学会、西新井文化センター：ギャラクシティ研修室)
6. (学会シンポジウム『江戸と能—式典の時代—』パネラー) 元禄時代と能楽 単著 平成15年
7. (翻訳) マイニンゲン公ゲオルク II 世の手紙 単著 平成15年 (世界の演劇博物館報告)
8. 操り人形は文楽にあらず — 東西演劇共演のジャン・ジュネ『屏風』 — 単著 平成15年 『シアターアーツ』18 (AICT [国際演劇評論家協会] 日本センター編集委員会)
9. (学会シンポジウム『伝統演劇の海外交流』パネラー) 蜷川幸雄の海外公演と伝統演劇 単著 平成16年 (世阿弥学会 西新井文化センター)
10. (翻訳) ベルトルト・ブレヒト『作業日誌』(上・下) 新装改訂版 共訳 平成19年 (河出書房新社)
11. (翻訳) ゲオルク・ビューヒナー 全集 I・II (日本ゲオルク・ビューヒナー協会) 共著 平成23年 (鳥影社)
12. ゲーテ『若きヴェルテルの悩み』の内的世界 — 受容と影響 共著 平成30年 日本ゲーテ協会 — 総会と講演 (シンポジウム)(東京ドイツ文化センター)